



銅像山通信 第9号

浅野学園同窓会会報・平成18年 VOL 1

発行日：平成18年4月28日 発行人：浅野学園同窓会



目次

〈ご挨拶〉

浅野学園同窓会会長 石橋 義史	2
浅野中学・高等学校長 淡路 雅夫	2
平成17(2005)年度 浅野学園同窓会総会報告	3
委員会から(財務・総務・親睦・広報)	3
平成16年度同窓会収支報告・17年度同窓会役員	3
同窓生の広場	4
映画紹介、同窓生の本の紹介、各部の活躍	

平成17年度 各クラブの参加状況と活動実績	6
お知らせ	7
掲示板	7
編集後記	7
平成17年度浅野高等学校大学入試合格者数一覧	8

ご挨拶

《ご挨拶》

〈男〉として生きる
奥克彦、ハチドリに
ふれて—



浅野学園同窓会会長

石橋 義史 (31期)

諸君、卒業おめでとう。先ごろ、6年前に諸君が浅野中学校に入学するのを許可した最終責任者は私であり、そうしてそれが校長として私の現役最後の年度であり学年であったことを知らされました。指折り数えて、ひそかに感慨にふけたことでした。

ところで毎年正月、鎌倉の鶴岡八幡宮と荏柄天神に足を運び、高三の諸君の大学合格を祈願するのが私の数十年來の年中行事なのですが、今年は荏柄天神の境内で感動的な〈絵馬〉を眼にしました。そこには「ともに汗を流した仲間たちが所期の目的を達成できますように」という願いの言葉が「浅野高校ハンドボール部員の母」という添え書きとともにマジック・ペンでしたためてありました。……卒業に際し、諸君はご両親はじめ多くの方がたの有形無形の、直接間接のバックアップがあったからこそ、今日の佳き日を迎えることができたのだ、という事実にぜひ思いをめぐらせてもらいたい、いや、それは18歳の諸君の快い義務でなくてはならないと思うのです。

お祝いの言葉を申し述べる機会を与えられましたので、少しばかり時間を頂戴いたします。

今から2年数か月前の平成15(2003)年11月29日に、奥克彦という外交官が赴任先のイラクで復興支援に奔走のさなか、テロの銃撃を受けて衝撃的な死を遂げました。当時、新聞その他で連日のように大きく報じられたので、記憶に留めている諸君も多いかと思えます。

彼は昭和33(1958)年1月に、兵庫県宝塚市で電気器具店を営む両親の一人息子として生まれたこと。小・中学校時代は野球、伊丹高校ではラグビーにのめりこみ、キャプテンとして弱体チームを全国大会に出場させる原動力となったこと。早稲田大学の政治経済学部に入學すると同時にラグビー部へ入部し、大型フルバックとして将来は全日本代表確実とまで周囲の関係者から期待されていたこと。しかし「大学在学中に外交官試験に合格するんだ」という高校時代から抱いていた夢の実現のために、悩みに悩み抜いたあげく2年生の夏に退部し、大きな挫折を味わったこと。そうして4年生の時に20倍の競争率を突破して、念願の外交官上級試験現役合格という快挙を成し遂げたこと。卒業後は外務省からオックスフォード大学への留学を命じられ、きわめて厳しい勉学の日々にありながら、ここでもラグビー部に入部し、日本人として初めてのレギュラーとして大活躍したこと。

しかし、こんなふうには駆け足で奥克彦の履歴を紹介していてもキリがありません。ここでは彼の人間味あふれるさまざまなエピソードのほんの一例を挙げるにとどめておきましょう。すなわち大学1年の時の授業中、隣の席に座った相手にノートを借りたのが、卒業すると間もなく結婚することになる恵美子夫人との出会いだったことや、横浜でテンピラにからまれて彼ら3人を相手に大立回りを演じたことや、「防弾チョッキは自分の美学に合わない」といって一度も着用しなかったことや、部員たちが疲れきって死んだように眠りこけている長野県菅平でのラグビー部の合宿中、まるで夜ごとの日課のようにイヤホンに耳をあてて英会話のカセットテープに聴き入っていた彼の姿が、上級生によって確認されていること、等々です。

私がここで強調しておきたいのは、奥克彦という外交官は口先だけの机上の空論家ではなく、自ら率先して汗をかき現場主義・行動主義・人道主義に徹した男だったという事実には他なりません。たとえば、イラクに派遣されてから彼の業績を2、3あげてみると、ダウン症の幼児の施設に家具や教材を送ったり、小学校には各種の学用品を配布したり、病院には医療物資を届けたり、上・下水道の施設の建設計画を推薦したり、といった具合で枚挙にいとまがありません。

またこれはイラン大使館の一等書記官としてテヘランに赴任した30歳頃のことですから、彼の壮烈な死の10年以上も前の話になりますが、湾岸戦争後のクルド人の難民キャンプで乳幼児がばたばた死んでいくのは、糞尿にまみれたまま何日間も放置されていることに一員があることに気付くと、ただちにテヘラン中の紙おむつを買い集めてトラックで現場に届けた、というエピソードなども、奥克彦という男の在りようを象徴して余りあるものと考えます。

……終りに蛇足を少々。——南米のエクアドルの先住民族の間には次のよう

な《ハチドリ》の物語が伝えられています。それは、アマゾンの森林が火事に見舞われ、あらゆる大小の動物たちはわれ先に逃げ出します。しかし体長7cmほどの小さなハチドリだけは、口ばしに含んだ水のしずくを一滴ずつ運んでは、燃え盛る炎の上に落とすという行為を懸命に繰り返し、一向に止めようとしません。動物たちたちは「そんなことをして何になるんだ」とあざ笑います。それに対してハチドリはこう答えるのです。「私は私にできる精一杯のことをしているだけです」。

私どもは日常、いろいろな場面で、しばしば無力感に落ち込んだり、あるいはハラワタが煮えくり返るような憤りに襲われたりすることが少なくありません。そうした時、私はこの素朴な伝承説話を思い起こし、「おれにとっての一滴の水>とは何だろう」と自らに問いかけるのです。幸いにも私ども浅野高等学校の校歌には「為すべき務めを為したる果てに」という一節があります。

卒業生諸君、どうか昨今またを賑わしている、思わず眼を覆いたくなるような、狡猾な、破廉恥な、無様な男にだけはならないで下さい。〈人間〉としての己の存在を煮つめて煮ごりにしたようなく男>たちが、我が母校から輩出する日の遠からぬことを、私は首を長くして待っています。

以上、諸君の絶えざる精進を期待して、一先輩からのささやかなお祝いの言葉といたします。(平成17年度 浅野高等学校卒業式祝辞)

《ご挨拶》

年度替わりに思う…



浅野中学・高等学校校長

淡路 雅夫 (40期)

今年も3月10日に267名の生徒が学園を巣立ち、同窓の仲間入りをしました。

毎年思うことですが、卒業生には、卒業証書の重みを十分に理解して浅野を巣立って欲しいのです。6年前に入学してきた生徒諸君は、浅野での6年間で授業での学習はもちろん、部活動や学校行事で、部員や友人さらにはクラブの先輩たちに鍛えられ、一人の生徒が集団(社会)の中で自己を活かせるよう育てられ、晴れて卒業証書を手にしたのです。卒業生は厳粛な雰囲気の中で卒業証書授与式に臨んでいましたが、一人ひとりの感慨無量な顔には、学園でできた仲間とともに、彼らの掛け替えのない場、浅野学園で為すべきことを為した自信と誇りが満ち溢れていたように思われます。今年も卒業生一人ひとりが、この打越しの丘で社会的に意味ある存在となるよう鍛えられ、将来、社会人として活躍してくれるものと期待しています。

秋になると、浅野総一郎翁の映画(劇映画)が完成するそうです。今年の創立記念日に、生徒諸君に〈今何故、我々の親爺総一郎翁が映画になるのか〉について話したのですが、私たちは、自由に豊かに生きることのできる社会に生活しています。総一郎翁は、自己の活動と社会の関係、つまり、社会の中で自己の力をどのように活かすことができるのか、社会でどのように自己を活かしてもらえるのかと、先見性や創造力をもって社会の動向をしっかりと見据えながら、社会のための企業活動に精進した人物なのです。今社会に目を向けてみますと、自分の生き方ばかりを追求する風潮のなか個人的な利害が優先し、その結果、大変暮らしにくい社会になっているように思えます。そういう時代だからこそ総一郎翁の生き方が話題になるのも当然かも知れません。映画完成の折には、生徒諸君はもちろん、同窓諸兄にも観てもらいたいと今から楽しみにしております。

同窓諸兄には、益々のご支援をお願いして、ご挨拶といたします。

総会報告

平成17(2005)年度 浅野学園同窓会総会報告

平成17年度の浅野学園同窓会総会は昨年6月4日(土)午後5時より、ホテルキャメロットジャパンにて開催された。総会は出席者125名を得て、浅野学園教諭前田渉(50期)の司会により進化した。

開会に先立ち、司会者の先導により物故学友47名の霊に対し、慎んで哀悼の意を表して黙祷を捧げた。その後、副会長石崎廣(15期)の開会の辞、会長石橋義史(31期)の挨拶、学校長淡路雅夫(40期)の挨拶の後、議長に岡本順太郎(38期)、書記に横溝貢(31期)が指名され、議案書に沿って議事が進行された。

第1号議案平成16年度事業報告について

総務委員長加藤勇治(36期)が報告

第2号議案平成16年度決算並びに監査報告について

財務部長長峯徳積(45期)監査結果報告 監事古川高夫(45期)

第3号議案平成17年度事業計画案について

総務委員長加藤勇治(36期)提案

第4号議案平成17年度予算案について

財務部長長峯徳積(45期)提案

第5号議案個人情報保護の問題について

副会長阿部義弘(46期)説明

上記全ての議案は報告・提案・説明の通り全会一致で承認された。議事終了後、親睦委員長斉藤清紀(48期)より、親睦会案内がなされた。副会長石崎廣(15期)の閉会の辞により総会は午後6時に終了した。

本年度は石橋新会長の下に同窓会の活性化、存在意義の浸透に努めてきた1年であった。各同期会の開催の折、石橋会長出席の際は同窓会への協力を強く要請していただき、成果も得てきた。学園文化祭では同窓会の部屋を設置して幾期かの卒業アルバム等の展示により歴史と伝統を訴えて評価を得てきた。その様な最中に同窓会活性化に長年御尽力をいただいた副会長石崎廣(15期)が昨年10月10日に逝去されたことは誠に無念の極みであった。慎んで御冥福を祈るばかりである。

光陰矢のごとし、新年度に向けて組織の若返りを求め、石橋会長の下に更なる結束を固めて同窓生の親睦を深め、母校の発展に寄与して行っていただきたいものである。

【同窓会副会長 岡本順太郎(38期)】

委員会から

財務

財務の目下の最大の関心事は、会費の納入状況です。幸い、年度予算の800名を超える834名の方々からの納入があり、一応目標を達成しました。しかし16年度実績は892名で、実績をかなり下回っております。とても安堵する数字ではありません。このように、数字は比較する基準値によってかなり印象が変わるものです。

私はただ、予算作成のベテラン担当者に全て任せ、「うんうん」と言っていれば済むので実に気楽なものです。就任後1、2年の様子見と考えていましたが、まあ何とかかなりそうかなというのが今の実感です。

お金というのは奥が深く、どんな些細なお金でも、意義を認めてくれないと払ってはくれませんし、認めれば借しめなく払ってくれる人がいるのも事実です。そのお金が有効に使われていると納得して頂かなければなりません。幸い今年度は浅野総一郎翁の映画化に対して、同窓会から若干の寄付が決まり、会の存在意義をほんの少し高めることができました。提案して頂いた方に厚くお礼を申し上げます。

今後も目に見える形で、役立つ会費の使い方をいたします。そのためにも、会費収入増加策をどうしても考えなくてはなりません。お金の悩みは尽きません。

(財務委員会委員長 45期 長峯 徳積)

総務

36期(昭34年卒)の同期会を40数年ぶりに催しました。参加者60名、高齢者の仲間入りをした同期の皆さんも、久しぶりに会う友と母校の思い出を語り、楽しい一時を過ごしました。この様に各期の同期会も活発に行われるようになり、同窓会活性化の一助になっていると思います。

本年度は同窓会オリジナルTシャツを製作し、文化祭・OB会などで販売して多くの方に購入していただきました。同窓会の運営については会費の増収等の課題はありますが、活性化に向けて会員の皆様のご支援とご協力をお願いし、感謝とお礼を申し上げます。(総務委員会委員長 36期 加藤 勇治)

親睦

平成17年度の同窓会総会並びに懇親会が、昨年の6月4日(土)に、横浜駅西口に在るホテルキャメロットジャパンにて、前年度と同様に開催されました。当日は特別会員の退職された先生方、現職の先生方、同窓会会員合せて百数十名の参加者を得ての会となりました。総会は、2年目を迎えた石橋会長の挨拶に始まり、議事はとどこおりに進み、最後に個人情報保護の問題により、同窓会名簿について討議されました。

懇親会は、恒例により今年度も高橋洋一(昭和46年卒)氏の司会により進められました。加藤明(昭和17年卒)副会長の開会の辞、退職の先生方の入場、校歌斉唱、石橋会長の挨拶、淡路校長の挨拶と進み、大山豊造(昭和19年卒)氏による乾杯にて、和やかに歓談がはずみました。閉会では現職の先生方がステージに上り、岡本副会長によるエールを受け、その場で淡路校長が石橋会長より記念品の目録を受けました。最後に、応援歌を参加者全員で歌い御開きとなりました。

今年度は6月3日(土)に開催致します。会員の皆様多数の参加をお待ちしています。(親睦委員会委員長 48期 斎藤 清紀)

広報

平成17年度はホームページの運用面でかなりの制限を余儀なくされましたが、アクセス数は今年4月現在4万7000件を超え、在校生のクラブ活動・OBの活動状況・新着情報の更新に加え「銅像山通信8号」も総会終了後、総会点描と共に掲載することができました。

またペーパーの同窓会報も発行後の検討反省会、年度明けの5月発行に向け2月・3月と打合せを行いました。

特に今回は、現在順調に進行している浅野総一郎を主人公とした映画の製作に関する記事を盛り込むなど、タイムリーな紙面作りをすることができました。

今後も継続してホームページ・会報づくりに取り組んで参ります、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。(広報委員会委員長 45期 古川 高夫)

- 財務 45期 長峯 徳積
※岩崎 正樹
53期※広瀬 昌治
- 総務 36期 加藤 勇治
18期 谷口 榮
19期 菊部 吉郎
30期 栗原 隆
30期 田邊 公男
31期 横溝 貢
31期 菅野 悦雄
40期 吉澤 瞭一
44期 大平 和美
46期 中島 賢司
46期 新井 康
46期 水野 恭一
49期 関野 保幸
53期 熊沢 真二
50期※前田 涉
64期※堤 敬哉

- 親睦 48期 齊藤 清紀
20期 大山 豊造
29期 上杉 政勝
30期 加藤 行一
36期 菜花 衛
38期 小池 典
40期 池田 政弘
42期 小沢 治雄
44期 長井 勉
48期 原 成男
48期 高橋 洋一
51期 小此木歌蔵
75期 石垣太郎
50期※金子 久雄

- 広報 45期 古川 高夫
38期 山口 継央
44期 石堂照日子
48期 佐藤 洋輔
49期 細野 泰彦
55期 富田 悦生
58期 都築 淳一
45期※酒井 晴雄
52期※岩崎 泉
58期※大野 浩光
(委員名の太字は委員長、※は在校幹事)

●● 平成16年度 同窓会収支報告 ●● (単位：千円)

(支出の部)		(収入の部)	
項目	金額	項目	金額
管理費	1,663	会費	1,784
事業費	3,938	終身会費	5,680
積立金	21,602	積立金取崩収入	20,102
予備費	50	預貯金利子	1
次年度繰越金	1,558	雑収入	17
		前年度繰越金	1,227
合計	28,811	合計	28,811

●● 平成17年度 同窓会役員 ●●

期	役割	氏名
31	会長	石橋 義史
40	顧問	※淡路 雅夫
18	副会長	加藤 明
38	副会長	岡本順太郎
46	副会長	※阿部 義弘
45	会計	長峯 徳積
	会計	※岩崎 正樹
45	監事	古川 高夫
53	監事	※広瀬 昌治

※は在校幹事

同窓生の広場

映画紹介

浅野總一郎翁の青春が映画に



浅野總一郎

1月20日、川崎市役所で映画制作会社「さざ波」が記者会見をして、浅野總一郎の青春時代を映画化することを発表しました。題名は「九転十起の男～浅野總一郎の青春」(仮題)です。制作費は約4000万円、3月から撮影に入り、川崎市と總一郎の出身地の富山県氷見

市で9月に先行上映され、10月から一般公開されます。

監督は本校昭和42年卒の市川徹さん、脚本は伊藤康隆さん、原作は作家新田純子さんの「その男、はかりしれず」(サンマーク出版)です。市川監督は「總一郎について、在学中はセメント会社をつくった程度しか知らなかったが、原作を読んで苦難の多い半生を知った。起業家としての姿と人間としての魅力を描き、若い人たちに夢を与える作品にしたい」と抱負を語っています。

總一郎は嘉永元年3月10日に氷見郡藪田村(現氷見市)の医者の子に生まれ、15歳で最初の商売を起しました。編機・醤油醸造・氷見針行商と、次々と事業に失敗し、周囲から「あれは總一郎ではなく損一郎だ」とも言われました。明治4年、24歳で上京すると、御茶の水での冷水売りを手始めに竹の皮商、石炭販売と商売の手を広げていきました。

その間に強盗に襲われたり、火災で無一文になるなど何回も挫折を体験しました。その後渋沢栄一、安田善次郎などと出会って実業家としての基礎を固め、官営の深川セメント工場の払い下げを受けたり、浅野造船所を創立したりするなど実業家として成功を収めました。映画は、何度挫折してもそこから立ち上がり、実業家とし奔走する總一郎の30代半ばまでを主として描いています。

總一郎は、大正3年から京浜工業地帯の大規模な埋立てに積極的に取り組み、「京浜工業地帯の父」「工業都市川崎の発展の功労者」と評されました。市川監督は、總一郎と縁の深い川崎市内の個人や団体に参加してもらい、映画制作を「実行委員形式」で進めたいと会見で語っています。撮影は主として川崎市内で行われますが、氷見市でのロケも行われます。氷見市と川崎市の友好の架け橋になることも期待されるこの映画の上映が待たれます。

なお、昨年12月には川崎市内の関係者によって「浅野總一郎の偉業を伝える会」(会長：遠藤恭正さん)が発足し、映画制作の支援に乗り出しています。協力団体には川崎市・氷見市役所・富山県氷見市藪田村浅野總一郎翁映画製作支援会とともに浅野学園も参加しています。

問合せ先/有限会社 さざ波

TEL.044-542-3865 FAX.044-542-3867

同窓生の本の紹介

銅像山通信第7号で、鈴木孝夫さん(45期)、竹内一郎さん(52期)、伊東潤さん(56期)からのメッセージを紹介したところ、「あの本読んだよ」「作者が同窓だったとは知らなかった」など、いろいろな声が寄せられています。広報委員会では、今後も同窓生の著書や創作活動を取り上げていく予定です。昨年出版された同窓生の著書を紹介します。ご一読ください。

『酒と涙と男と天ぷら』

原 成男著(48期 昭和46年3月卒)

著者の原さんは、横浜で五代続く老舗「天吉」のご主人です。「ハマ子気質」満載のエッセイ集と評判になりました。同書を書くに至ったいきさつや内容について原稿を寄せていただきました。

「平成14年の秋、神奈川新聞社より食についてのコラムの依頼がありました。旬の食材と天ぷらについて二回ほど書いて欲しいという事でしたが、つつい大好きなお酒や自分のまわりの事まで書いてしまいました。後日、これを本にしたいと言われた時は本当にびっくりしました。自分の本が出版されるなんて考えた事も

ありませんでした。世の中何が起るかわかりませんね。

本には浅野や同期の友人のことも書きました。今でも私のまわりは浅野だらけです。こんなに勝手な本を宣伝しようとしてくれる先輩方もいます。喜んでくれる先生方もいます。浅野の卒業生で本当に良かった。本はそこそこ売れており、出版社にご迷惑をかけずにすみませんでした。うれしかったのは読者の方々から手紙をたくさん頂いたことです。今、少しずつ返事を書いているところです。」

●神奈川新聞社刊 B6変形判・170ページ
定価1050円(本体1000円+税)

『職業外伝』

秋山 真志著(54期 昭和52年3月卒)

日本の滅び行く職業や伝統職に就いている12人の人々の生き様を、仕事を切り口にして書いた人物ルポです。著者の秋山さんは、この企画を20年前に思いつき、ライフワークにしようとした経緯をPTA広報誌に寄稿し、「好きな仕事をしておまんまが食える、それが人間にとって一番幸せな

ことではないか。そうなるには…懸命な努力が必要だ。キミたちにも必ず“天職”はある。…それを的確に捉える目を涵養してほしい…」というメッセージを在校生に送ってくれました。

●ポプラ社刊

四六判・311ページ

定価1575円(本体1500円+税)

歌集『雑木林』 佐貫田友保著(43期 昭和41年3月卒)

「進まない勉強にふとペンを執り白い頁をつくづく愛す」

「求道の詩を歌いて二十年真理を探る道にてありし」(本文より) 長年詠み溜めた短歌の集大成で、著者の様々な思いがせつせつとつづられ、心の変遷がうかがえる歌集です。

●新風舎刊

四六判・224ページ

定価1995円(本体1900円+税)

A『人は見た目が9割』

B『手塚治虫=ストーリーマンガの起源』

竹内 一郎著(52期 昭和50年3月卒)

〈A〉は昨年10月に発売されるとベストセラーになりました。〈B〉は手塚治虫の初期の全作品を踏査してその驚異の演出法を分析した作品で、今年2月に出版されました。著者の竹内さんは「さい ふうめい」の筆名で戯曲などの創作活動も精力的に進めています。

A●新潮社刊

新書判・191ページ

定価714円(本体680円+税)

B●講談社刊

全集双書 262ページ

定価1680円(本体1600円+税)

各部の活躍

勉強との両立・限られた時間や場所・部員数の過不足一部活動には色々な制約があります。それでも生徒たちは毎日元気に活動に参加しています。平成17年水泳部は全日本選手権に、ボクシング部は関東大会とインターハイに出場して日頃の練習の成果を発揮してきました。近年、OB会としてコーチを派遣して着実に成果をあげている部活も出ています。各クラブの活動を紹介します。

浅野水泳部に新しい歴史

水泳部顧問 愛甲祐二

浅野水泳部の歴史を繙いていくと、昭和30年から40年代には県新記録保持者や全国大会・国体に出場された方がおられたという記録が、神奈川県水泳連盟の記念誌に記されている。私が赴任した50年代にも国体選手が一人いた。

あれから二十数年、市大会優勝や県大会で決勝に残る者がいても、関東・全国へとつながる選手は出てはこなかった。

6年前に加藤寛樹が浅野に入学し、中学1年時よりその才能の片鱗を見せ、関東大会・全国大会へ4年連続で出場し入賞も果している。特筆すべきは国内大会でレベルの一番高い、日本一を決める全日本選手権に出場できたことである。

彼が中学2年の時に関東大会へ引率した際に、ウォーミングアップする彼のバタフライの泳ぎに、特に天性ともいべきキックに私は目を見張った。私もバタフライ選手として中学2年から高校3年まで全国大会へ出場し入賞の経験もあったので、彼にレースのテクニックをアドバイスすることにした。彼のキックを生かすべく、スタートから潜水キックで進むことを作戦とした。結果は見事優勝であった。

彼は幼少期よりスイミングスクールに通っており、本校で練習するのは月に2～3回程度で、純粋な浅野スイマーとは言えないかもしれないが、浅野水泳部の看板をしょって誇りを持って出場してくれたことに感謝している。加藤に続けと部員一同奮起し、また新しい歴史を残すべく錬磨している。私も微力ながら手助けできればと思っているが、OBの方々のお力が強力であることは言うまでもない。今後ともご助力を仰ぎたい。

ボクシング部

関東大会・インターハイに

顧問 永岡利之・庄子真生

関東大会ライトフライ級3位吉田龍司・フェザー級3位本田洋一、インターハイライトフライ級ベスト16吉田龍司。平成17年度、ボクシング部は好成績を残すことが出来ました。各部員が頑張ったことがその理由ですが、中村開コーチ(71期)・丸山

学コーチ(75期)の熱心な指導があったことも忘れてはならないでしょう。中村コーチは、明るい性格で生徒をひっぱってくれました。丸山コーチは、ボクシングが好きでたまらないという態度で生徒と汗を流してくれました。両コーチには本当に感謝しています。なお、お二人は奇しくも淡路校長が担任団の一員だった学年の生徒だったということです。

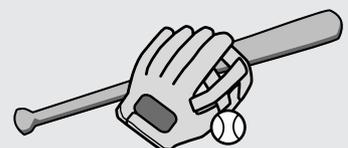
野球を通じて魅力ある人間形成にチャレンジ

浅野学園野球部OB会 技術指導委員長 諫山博義(33期)

野球部では、OB会の承認を得て選出された技術指導委員会のメンバーによって選手の指導が行われています。委員会は、技術の向上だけではなく、野球を通じて人間形成をすることも目指しています。選手には、「自分は何をしたいのか」「自分は何を希望するのか」、一人一人がテーマをもって野球に取り組み、その完成を目指して燃え尽きようと語りかけてきました。彼らはモチベーションを与えれば必ず結果を出してくれると信じております。

指導を始めて約3ヵ月半。目指すチーム作りにはまだ時間がかかりますが、嬉しい報告があります。春季県大会横浜地区予選を勝ち抜き、本大会の出場権を獲得しました。4年ぶりの快挙です。4月8日の本大会1回戦では敗れましたが、夏の選手権大会に向けて選手たちには大きな自信となったことでしょう。着実にチームづくりは前進しています。夏の大会までに残された期間は約3ヶ月。選手たちは厳密な目的と目標を持って練習し、毎日切磋琢磨しています。コーチたちも「選手に素晴らしい感動を」をテーマに彼らの夢の実現のために一緒に汗を流しています。

同窓生の皆様。選手諸君の精進する姿に、今後とも絶大なるご支援をお願いいたします。



平成17(2005)年度 浅野中・高等学校各クラブの参加状況と活動実績

クラブ名	顧問名	部員数	主な活動や実績
アーチェリー部	松岡 押田 小西	45人	神奈川県高校新人戦(個人5位・6位)関東選抜大会出場(2名出場)
アメリカンフットボール部	斉藤 沼澤 森	46人	高校;神奈川県春季大会・新人戦(1回戦) 中学;フライングボールジュニア関東大会出場(中2Aチーム2回戦 2B・1C1回戦)
剣道部	前川 原田 加藤勉	29人	高校;関東大会県予選(団体2回戦)高校総体県予選(個人4名出場4回戦 団体2回戦) 神奈川県新人戦大会(団体2回戦)横浜地区大会(個人10名出場3回戦)横浜地区新人大会(団体A・B3回戦)神奈川県民大会(個人優勝・3位 団体5位) 全国玉竜旗大会(団体3回戦)全国山内旗大会(団体3回戦) 中学;神奈川県大会(団体・個人準優勝)横浜大会(団体・個人3位)県大会予選(団体ベスト16 県大会出場)区民大会(団体3位)区新人戦(団体優勝)県選抜練成大会(団体優勝 県強化指定選手に1名選出)全国中学志澤旗争奪大会(団体5位) 安部杯争奪大会(団体3位)
高校サッカー部	永山 波田野 芳賀 酒井	23人	県U-17リーグ3部より2部昇格 2部Cグループ3位
中学サッカー部		79人	神奈川県大会(1回戦)神奈川県中学校総合体育大会(ベスト8)横浜市選抜選手に1名選出
柔道部	平山 西澤 大川	43人	高校;体重別新人大会団体戦(Aチームベスト16)県新人体重別大会(66kg級ベスト8) インターハイ県予選団体戦(3回戦) 中学;神奈川県大会団体戦(準優勝)私立中学大会(団体3位 個人2年・3年の部各3位)
水泳部	愛甲 土門 河田	20人	日本選手権大会(50mバタフライ150位 高校生での出場者は5人のみ)神奈川県大会(100mバタフライ16位・自由形7位)関東大会(100mバタフライ8位・同自由形20位)全国大会(100mバタフライ18位) 横浜市大会中学の部(背泳ぎ3位)
卓球部	奥野 越智 磯崎	75人	私立中大会個人戦(3年・2年各ベスト16 1年ベスト8)神奈川県新人大会(個人戦2位)
テニス部	広瀬 灘山 持丸 金子 小林佳	169人	高校;横浜Jテニストーナメント(シングルス3位)横浜市リーグ戦(第3部3位) 中学;私立中学選手権団体戦(Aチーム3回戦 Bチーム1回戦)
登山部	比留間 麻生 大塚重	13人	関東大会出場
ハンドボール部	山田啓 吉澤 徳山 青木	117人	高校;関東大会県予選(ベスト8)・インターハイ県予選(ベスト8)市民大会(A準優勝)横浜地区秋季大会(優勝)県新人大会(3位)関東選抜県予選(5位) 中学;横浜市中学総合体育大会(3位)市民大会(準優勝)神奈川県中学校総合体育大会(4位) 全国選抜県予選(3位)私立中学校大会(優勝)神奈川県選手権大会(3位)
高校バスケットボール部	田中邦 堤 更田	29人	高校;インターハイ横浜北地区予選(ブロック1位)同県予選(2回戦) 新人大会横浜北地区予選(ベスト8 代表決定戦で敗退)
中学バスケットボール部	大塚剛 小林俊	59人	中学;私立大会(5位)横浜市選手権大会出場(1回戦)横浜市総合体育大会(3回戦) 神奈川県新人大会(3位)横浜市新人大会(ブロックベスト8 本大会出場)
バドミントン部	山崎 安井 今井	44人	全国大会神奈川県予選(市大会 シングル・ダブルともにベスト16)
バレーボール部	里見 伊藤 中村	36人	横浜地区夏季大会(ベスト24)同秋季大会(ベスト25)横浜大会(ベスト25)
ボクシング部	永岡 庄子	9人	関東大会県予選(LF2位 B3位 Fe2位・3位)関東大会(2人出場 LF3位 Fe3位)全国大会県予選(LF優勝 B3位 Fe2位)全国大会(LFベスト16)新人戦(F優勝 B2位・3位)
高校野球部	河合 岩崎薫 宮坂	21人	全国高等学校野球選手権神奈川大会(2回戦)
中学野球部	山下 出井	50人	
高校ラグビー部	岩崎泉 佐藤崇	10人	横浜ラグビーフェスティバル(2勝2敗 岡津高校との合同チーム)
中学ラグビー部	山田麻	17人	神奈川県秋季大会参加(0勝3敗) 神奈川県新人大会(1分2敗)
陸上競技部	八木 古梶 石井 安部	52人	高校;横浜市記録会・高校総体地区大会・県大会出場 高体連地区新人戦(4×100m6位 400m6位)・同県新人戦出場 中学;通信陸上横浜地区大会・同県大会出場 私立大会総合3位
遺跡研究部	小野木 麻生 磯崎	6人	7月下旬に岐阜県不破郡関ヶ原町付近にて夏期合宿調査
劇団こぎと(演劇部)	稲葉 比留間 山田麻	23人	高校;横浜市高等学校演劇発表会中央大会(優秀賞)市高等学校演劇連盟地区大会(最優秀賞) 市高等学校演劇発表会春季大会(最優秀賞・最優秀演技賞・ナイスキャラクター賞・創作脚本賞)神奈川県私立高等学校演劇発表会(優秀賞) 中学;横浜市中学校演劇発表会(奨励賞)市ジュニア演劇ワークショップ&コンテスト(優秀賞)神奈川県私立中学校演劇発表会(最優秀賞・フォンテ賞 関東大会出場)関東大会(優良賞)
化学部	本多 更田 徳山	28人	年間を通じて打越祭での発表に向けた研究活動を行った
棋道部	橋本 柏崎	26人	高校;高校総合文化祭将棋部門県予選団体戦(3位)県高文連高校将棋夏季団体戦(3位) 全国高文連将棋新人大会県予選(個人戦A級ベスト4に2人 ベスト8に1人)
時報部	石井 西澤 小林俊 阿部	7人	『浅野時報』 年3回発行
吹奏楽部	曾我 松岡 宮坂	31人	横浜吹奏楽コンクール(銀賞) アンサンブルコンテスト(金管銅賞・木管銀賞)オルトヨコハマ祭参加
生物部	吉澤 大塚剛	39人	国立博物館・上野動物園見学 日本生物教育学会第80回全国大会で高校一年生2名が発表
地学部	波田野 庄子 小林佳	25人	夜間観測2回実施 埼玉県秩父で化石採集
鉄道研究部	大野 堤 佐々木	23人	神奈川県高等学校総合文化祭の鉄道研究発表会 自由研究発表部門で1位 教育長賞・3位受賞 鉄道研究専門部会長車両コンテスト部門3位受賞 奨励賞受賞
美術部	田中賢 河田	9人	
物理部	小西 安部 沼澤	34人	
JRC部	前田 大塚重	9人	スマトラ沖地震・パキスタン地震募金 プルタブNPO団体へ寄付 通学路清掃活動 グリーンマークで寄贈された桜の管理

お知らせ

同窓会の更なる活性化へ向けて・Ⅱ

石橋義史前校長・学園長が同窓会長に就任されて2年。その前の年の『銅像山通信・第6号』のこの欄に書いた同窓会活性化への思い、〈内なる活性化の必要〉は今も変わりませんし、石橋会長が常々口にする、同期会・クラブのOB会を軸に同窓会を今以上に活発なものにし、併せて年度会費の納入を増やしたいという思いは、まだまだ達成されてはいません。

確かに、卒業式での同窓会長賞の授与と記念品贈呈、奨学金制度、クラブコーチ制度と、在校生支援の形も整い、秋の文化祭には同窓会としての参加も始め、会報の発行、ホームページの運用、総会・懇親会の開催…等々、活発な活動を行っています。しかし、会員諸兄のお叱りを承知で書けば、課題は山積しています。(1)会の運営の中心である運営委員会の諸兄の固定化・高齢化(特定の方のボランティアに甘えているのが現状。若い同窓生の多数の参加が望まれます)、(2)幹事会の見直しと再委嘱(本来に名前だけの幹事が増えてしまいました)、(3)年度会費の増収の必要(毎月全在校生から同窓会費として納めてもらっていますが、これはあくまで預かり金で、実際に同窓会費となるのは高校卒業学年の終身会費分だけなのです)、(4)会の実質的な活性化の必要(同期会・クラブのOB会の取り込み、文化祭参加を發展させたホームカミングの企画実現、総会・懇親会の参加者増の工夫…)、(5)在校幹事の組織化および参加意識高揚の必要(現在、学内の先生方は校務分掌の一つとして同窓会の仕事を担当してもらいますが、実際は、授業、担任業務、クラブ活動指導、他の校務分掌と兼務とかなり忙しく、会の雑用はどうしても以前から務めて仕事の内容の分かっている少数の限られた先生のボランティアに頼っているのが現状なのです)。まだまだありますが、要は、〈活動資金と活動要員の確保〉〈同窓生の参加意識の高揚〉に尽きます。

今年度、役員運営委員会や幹事会でこうした課題について早急に話し合わなくてはいけないのはもちろんですが、併せて多くの(若い)同窓生の自発的な参加が待たれています。どうか同窓会活動への積極的な参加とお手伝いをお願いいたします。

浅野学園同窓会副会長 阿部 義広 (46期)
浅野中・高等学校教頭

掲示板

同期会の案内、その他同窓会員への広報を目的とした「お知らせ」を掲載ご希望の方は原稿を浅野中学・高等学校 酒井晴雄までお寄せください。

T E L 045-421-3281 F A X 045-421-4080 E-mail sakai@asano.ed.jp

No. 1 平成18年度 浅野学園同窓会総会・懇親会

日 時 6月3日(土) 総会：午後5時00分～
懇親会：午後6時00分～
会 場 日産横浜倶楽部(日産横浜ビル21F 横浜駅東口より
徒歩7分) TEL 045(451)5700
会 費 7,000円
※詳細は、本会報と同封の案内状をご覧ください。

No. 2 同窓会年度会費(2,000円)納入の お願い

◇必ず卒業年とお名前の読みがなをご記入のうえ、同封の振込用紙でお振込みください。また、6月3日(土)の懇親会の受付での現金でのお支払いも申し受けます。

【注意】……ただし、72期～83期(平成7年3月卒～平成18年3月卒)の会員は在学中毎月同窓会費をいただいておりますので、年度会費は納入されなくて結構です。

No. 3 (学校より)

打越祭 第1部文化祭…9月9日(土)・10日(日)
第2部体育祭…9月23日(土)(雨天順延)

学校説明会 5月20日(土)～25日(木)5日間とも本校講堂で

入試説明会 10月21日(土)～25日(水)4日間とも本校講堂で

※詳細は学校にお問い合わせください。

No. 4 同窓会Tシャツ販売のご案内

総務委員会は、同窓会グッズの第一号としてTシャツを作成し、昨年の文化祭で販売しました。Tシャツはスクールカラーのエンジ色で、背中部分に「努力」という文字が染め抜かれています。当初、M・L・XLの3サイズで300着を作成しましたが、文化祭で好評だったこともあり150着を追加作成しました。今日までに140着が販売されています。在庫のTシャツは、同窓会総会や懇親会、各同期会や各部OB会など、あらゆる機会に販売していく予定です。購入を希望される場合は、総務担当者か学校にお問い合わせをしてください。

*1着1,500円 残部僅少 希望者はお早めに!

◆◆ 編集後記 ◆◆

私事ですが、介護保険でケアマネージャーの仕事に携わって早6年。この間大小いくつかの法改定にその都度対応してはきましたが、今回平成18年4月の改定は先輩諸兄もご存知の通り非常に大幅な改悪となりました。従って今年はその対応に大幅な時間を費やしてしまい、今般発行の『銅像山通信・第9号』に関してはその殆どについて、他の委員会の委員長さんや広報委員の皆さんのご尽力に甘えてしまいました。紙面をお借りしてご協力頂いた方々に心から感謝申し上げる次第です。

次号からも皆様に楽しんでいただける紙面作りに努力したいと存じます。そのためにも、先輩諸兄には様々な御意見を頂戴しながら、ご寄稿お願いの折には格段のご協力の程を重ねてお願い申し上げます。

広報委員会 古川 高夫 (45期)

『銅像山通信』・第9号

発行日 平成18年4月28日

発行人 浅野学園同窓会

発行所 ☎221-0012

横浜市神奈川区子安台1-3-1

浅野中学・高等学校

T E L 045-421-3281

F A X 045-421-4080

編 集 浅野学園同窓会広報委員会

印 刷 ☎105-0014

東京都港区芝3-4-12

(株)廣済堂 データベース部

T E L 03-5427-8020

〈平成17年度 浅野高等学校 大学入試合格者数一覽〉

平成18年4月5日現在
浅野高等学校進学指導部調べ

国公立大学 (準大学も含む)					大学名	学部名	現役	浪人	合計	大学名	学部名	現役	浪人	合計			
北海道	医		1	1	慶應義塾	商	16	9	25	東海	政治経済		1	1			
岩手	農	1		1		法	5	3	8		専修	経済	4	4	8		
東北	薬	1		1		文	1	4	5			経済	1	2	3		
筑波	医学専門	1	1	2		理工	23	7	30			経営		2	2		
	第2学群	1		1		環境情報	3		3			文		1	1		
横浜国立		2	1	3		総合政策	3	1	4				1	5	6		
	経営	1		1			62	27	89			法政	法	1		1	
	教育人間	1		1		東京理科	理工	43	6				49	経営	2		2
	工	5		5		工	9	6	15				工		2	2	
横浜国立		7		7		理	9	5	14				3	2	5		
	医	1		1	理(第二部)		1	1	駒沢	法		1		1			
横浜市立	国際総合	1		1	基礎工	5	1	6		経済	2		2				
		2		2	経営	2	3	5		経営	1		1				
東京	文科一類	1		1	薬	3	1	4		文		1	1				
	文科二類	4		4		71	23	94			4	1	5				
	理科一類	5	4	9	明治	政経	2	2		4	経営	1		1			
東京外国語		10	4	14	商	1		1		神奈川	理		2	2			
	外国語	3		3	経営	4		4			工		2	2			
	教育	4		4	法	4		4				1	4	5			
東京学芸	第3類	1	1	2	文		3	3		国際基督教	教養	2	2	4			
東京工業	第5類	1	2	3	理工	5	5	10	文		2		2				
東京工業	第7類	3	1	4	農	2	1	3	経済			2	2				
東京農工		5	4	9	情報コミュニ		1	1	成蹊	法		1	1				
	工	2		2	上智	経済	3	4		7	経営		1	1			
	農	1		1	法	3	4	7		経		1	1				
電気通信		3		3	総合人間	2		2	成城	法		1	1				
	経済		1	1	外国語	1	2	3		経済		1	1				
	社会	1	1	2	理工	7	1	8				2	2				
一橋	法		1	1	中央	経済	2	4	6	武蔵工業	工	9	1	10			
	社会	1		1	商	2		2	環境情報		1		1				
	商	1		1	法	4	4	8			10	1	11				
首都大学東京		5	3	8	文	2	1	3	芝浦工業	工	5	1	6				
	都市環境		1	1	総合政策	1	2	3		東京電機	工	4		4			
	都市教養	1	1	2	理工	3	2	5			理工	1		1			
システムデザ	1		1		14	13	27		5			5					
静岡		2	2	4	立教	経済	3	2	5	北里	医	3	1	4			
	人文	1		1	経営	1	1	2	薬		2		2				
	経済	1		1	法	5	1	6	理			1	1				
新潟	理		1	1	文	4	2	6	昭和		5	2	7				
	経済	1		1	コミュニイ福祉		2	2		医		5	5				
	工	3		3		13	8	21		薬		1	1				
富山		2		2	青山学院	国際政経	1	1	2			6	6				
	農	2		2	経済	3	1	4	東京慈恵会	医	2	1	3				
		6		6	経営	3	2	5		東邦	医	2		2			
理	1		1	法		1	1	理			1	1					
福岡県立	人文社会		1	1	文	1		1	東京医科	医	1	2	3				
	医	1		1	理工	3	3	6		聖マリアンナ	医	1	2	3			
	医	1		1		11	8	19		順天堂	医	1	1	2			
宮崎		6		6	明治学院	経済	2	1	3	日本医科	医	1		1			
	理	37	14	51	社会	1	1	2	東京農業		生物産業		1	1			
	社会科学	1		1		7	4	11			地域環境科学	1		1			
社会科学	1		1	日 本	法	1	2	3		農	1		1				
福岡県立	人間科学		1	1	東 海	経営		1	1	麻布獣医	獣 医		2	2			
	スポーツ科学	1		1		文 理	1	1	2		東京薬科	薬	2	1	3		
	国際教養	6		6		理工	1	2	3			生命科学		2	2		
	77	34	111	芸 術	1		1		2	3		5					
慶應義塾	経済	11	3	14	東 海	医	1	1	2	共立薬科	薬	4		4			
					工	1		1	星薬科		薬	2		2			
					理	1	1	2			明治薬科	薬	2		2		
				情報理工	1		1	上記以外の私立大学		19		19	38				
				文	1		1	私立 合 計	374	215		589					
				教 養		1	1		全体合計	431	233	664					